

PA鍵盤楽器

	氏名	担当科目	経歴	メッセージ
個人	新井 啓泰	ピアノ(クラシック)	東京藝術大学を卒業後、文化庁新進芸術家海外派遣制度派遣員として渡欧。ドイツ国立ハンブルク音楽大学、イタリア・ベスカラ音楽院にてディプロムを取得。帰国後、国立音楽大学大学院修士課程を修了。 イタリア・カラブリア国際ピアノコンクール・ディプロマ賞など国内外のコンクールで入賞多数。東京文化会館や浜離宮朝日ホールで定期的に開催したソロリサイタルはいずれも好評を博した。サントリーホール及び東京文化会館大ホールにて催された、40年を超える伝統を持つ『第九と皇帝』において、ベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲第5番「皇帝」のソリストを度々務めたほか、多くのオーケストラと共演している。 エフエム栃木レディオベリー「音楽のミナテラスとちぎ」番組パーソナリティーを務めるほか、下野新聞「日曜論壇」の記事投稿など、多方面で活躍している。宇都宮短期大学音楽科教授・学科長、フェリス女学院大学非常勤講師。	フェリスの自由な校風の中で得た伸びやかな感性を、ピアノで自己表現することにつなげていきましょう。 初心の方は、楽器に触れることや音楽する楽しさを、中級の方は、音楽の意味を感じながら演奏する良い趣味を、本格的に学ぶ方は高いレベルの完成度や表現法を身につけます。 それぞれの個性を活かし、自分のペースで成長できるよう指導してまいります。
個人	北原 葉子	ピアノ	フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同大学専攻科修了。 その後フランスに留学。パリのエコール・ノルマル、スイス・ジュネーブのコンセルバトワールで研鑽を積む。 帰国後、東京藝術大学音楽学部助手、フェリス女学院音楽学部助手・非常勤講師を勤める。 また、リサイタルのほか、米良美一をはじめとした室内楽・合唱の伴奏を行う。 山岡優子、安川加寿子、エドソン・エリアスの各氏に師事。日本ピアノ教育連盟会員。	皆さんそれぞれの個性を大切に、聴衆の前で自己表現として演奏することの楽しさを身に付け、卒業後も生涯にわたってピアノと関わっていくことができるように一緒にがんばりたいと思っています。
個人	清水 将仁	ピアノ(クラシック)	東京藝術大学を首席で卒業。在学中に安宅賞を受賞。また、芸大定期にて芸大オーケストラと共演。 東京藝術大学大学院を首席で修了。クワイター賞を受賞。 アムステルダム・スウェーリング音楽院(オランダ)を卒業、国家演奏家資格を取得。帰国後、東京文化会館、すみだトリフォニーホールなどにてリサイタルを開催、好評を博す。 数々のソロリサイタルの他、オーケストラとの共演、室内楽、伴奏、レコーディングなど、幅広く演奏活動を行っている。 また、コンクールの審査、各地での講習、レッスンなど、後進の指導にも積極的にあたっている。 これまで、新谷規子、野口明子、H.C.ステファンスカ、田辺緑、W.フロンズの各氏に師事。日本演奏連盟会員。クワイター記念会会員。 全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。現在、洗足学園音楽大学教授、フェリス女学院大学講師。	ピアノ演奏の基礎をしっかりと身につけ、自分自身が考え、感じたことをピアノで表現できるように、また学生それぞれの目標やレベルに合わせて丁寧に指導することを心がけています。
個人	末松 茂敏	ピアノ	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。 ハンブルク音楽大学卒業。第60回日本音楽コンクール入選。エリーゼ・マイヤーコンクール第2位。第17回飯塚新人音楽コンクール大賞受賞。 藝大オーケストラ、シベリウス音楽院交響楽団とラフマニノフ ピアノ協奏曲第3番を、岡山若い芽のオーケストラとベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」を、バルトフィルハーモニックオーケストラとショパン クラコヴィアクを共演。日本ショパン協会、ヴァン・クライバーン日本委員会主催のリサイタルをはじめ、日本、アメリカ、ドイツにてリサイタルを開催。 2003年から2021年まで、横浜市青葉区のフィリアホールでほぼ毎年、ヴァイオリニストの天満敦子氏と共演。 J.S.バッハやコンクールの課題曲の講座、色々な作曲家についての講座、コンクールの審査、曲の説明をしながらのトークコンサートをしている。 フェリス女学院大学、同大学院講師。横浜雙葉中学高等学校講師。	一人一人の学生に合ったレパートリーを考え、レッスンでは丁寧に分かりやすく教えることを心がけています。また出来るだけ多く弾くようにしています。弾きにくいところがあれば、何が問題か考え練習の方法などを伝えます。演奏活動をしているので、本番での心構えなども話す時があります。
個人	西上 和子	作編曲 ピアノ	奈良県出身。 自然溢れる奈良で幼少の頃からピアノを自由に弾く事が大好きで、自作自演を遊びに日々過ごす。 吹奏楽部でクラリネットと出会い、管楽器の楽しさを知り、さらに自分で作曲や編曲することに興味がわく。 天理高校卒業後、上京。 東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。 現在は、幅広いジャンルの作曲編曲活動、管楽器ソロ作品をはじめ、室内楽、協奏曲、校歌、また歌手の米良美一氏のために多数の編曲を手掛ける。 その他、人気歌手のバンドとオーケストラの融合プロジェクトにオーケストレーションで参加する。 CDプロデュース、ピアノ演奏はクラシック伴奏、即興からバンド演奏まで多岐にわたり活動している。 フェリス女学院大学、尚美ミュージックカレッジ、講師。	音楽を聴いたり、演奏したり、時には勇気をもたらしたり、慰めてもらったり。音楽には本当にいろんな力がありますよね。大好きな曲を上手に弾きたい、オリジナル曲を作ってみたい、あるいは音楽のもっと深く本質をのぞいてみたい、仕掛けを知ってみたい、そんなお手伝いが出来たら、と思っています。
個人	宇内 千晴	パイプオルガン	上野学園中学・高校音楽科・同大学器楽学科オルガン専門卒業。ドイツ・ヴェストファーレン州立教会音楽学校(現大学)卒業。カントール(教会音楽家)資格を取得。オルガンを廣野嗣雄、A.シェーンシュテット、J.N.ケラー各氏に師事。その後、スイスのロママティエ、イタリアのピストイア、スペインのサラマンカで行われた国際オルガン音楽アカデミーにて研鑽を積む傍ら、同地でコンサートを行い好評を得る。ピストイア賞受賞。現在は、フェリス女学院大学と東京基督教大学で後進の指導に当たる。東京基督教大学では長年に亘り「教会音楽アカデミー公開講座」「パイプオルガンさん こんにちは」「クリスマスコンサート」などを企画し、教会音楽やパイプオルガンの魅力を伝えることに力を注ぐ。また、演奏家としてはソロやアンサンブル活動の他、神奈川県立音楽堂やフェリスメサイアでは、10数年に亘り通奏低音奏者を務める。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。日本リードオルガン協会、国際ハインリッヒ・シュツルツ協会会員。府中西原キリスト教会会員。	オルガンを弾いてみたい方でしたら、どなたでも大歓迎です。一人一人の鍵盤技術に合わせたレッスンを行います。賛美歌、バッハ、そして新しい作品。鍵盤楽器の中で一番古い歴史を持つパイプオルガンの世界は、魅力がいっぱいです。是非オルガンの豊かな世界を味わってください。

PA鍵盤楽器

	氏名	担当科目	経歴	メッセージ
個人	三浦 はつみ	パイプオルガン	<p>東京藝術大学音楽学部器楽学科オルガン専攻卒業。ボストン・ニューイングランド音楽院にてアーティストディプロマ取得。</p> <p>オルガンを秋元道雄、廣野嗣雄、島田麗子、菊池みち子、G.ボヴェ、林佑子の各氏に師事した。日本聖公会横浜聖アンデレ教会オルガニスト。</p> <p>横浜みなとみらいホールでは1998年開館以来、23年に渡りホール・オルガニストを務め、オルガン・1ドルコンサート、子どものためのワークショップなどの企画、ホール・オルガニスト・インターンシップなど育成プログラムにも力を入れた。</p> <p>平成19年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞、令和3年度横浜文化賞受賞。</p>	フェリスホールの素晴らしいパイプオルガンをぜひ体験してください。
個人	長久 真実子	チェンバロ	<p>東京藝術大学チェンバロ専攻卒業、安宅賞受賞。同大学院修士課程修了。</p> <p>東京藝大教育研究助手を経て、現在神奈川県立相模原弥栄高校音楽科、フェリス女学院大学、国立音楽大学各非常勤講師。</p> <p>オーケストラの通奏低音や伴奏等で活動。歌舞伎座「源氏物語」全25公演にて演奏。</p> <p>日本チェンバロ協会運営委員。</p>	チェンバロ独特の奏法や、バロック時代の時代背景を知り、当時の文化を感じることを大切にしています。バロックとは今から300~400年前の芸術様式です。フェリスにある素晴らしい楽器を弾くことができるのも魅力の一つです。